

令和2年度  
事業報告書

社会福祉法人  
大山町社会福祉協議会

# 令和2年度社会福祉法人大山町社会福祉協議会事業報告

近年社会保障を支える土台が先細りし、その結果生活困窮、孤独等様々な生活課題が浮上しております。そのような中、令和2年2月初頭に発生した新型コロナウイルスの世界的感染拡大により人々の生活は大きく脅かされ、これまでの生活様式を根底から覆されるような事態に陥り、未だ収束の様子は見られないばかりか、変異株ウイルスが猛威を振るう状況です。

地域福祉事業については、年度当初に予定していた事業の延期または中止が相次ぎました。このような状況の中、感染予防対策を行ない、町民の皆様の安全を最優先に考えながら地域福祉事業を展開しました。

介護保険事業及び障がい福祉サービス事業においては、国内福祉施設でのクラスター発生が相次ぎ難しい事業運営が強いられる中、感染防止に細心の注意を払いながら業務を実施しました。

このウイルスを取り巻く状況は、今後もしばらく続くことが予想されます。新しい生活様式を受け入れながら、工夫を凝らした事業展開が必要となってきます。

具体的な事業の取り組みについては、以下の通り報告致します。

## 1. 地域福祉活動の推進

旧町単位で生活支援コーディネーターを配置し、地域住民や地域自主組織、行政担当課と高齢者の生活課題の把握、新しいサービスの開発、ネットワークづくりに向けた協議を行ないました。

また、一人暮らし高齢者世帯への個別訪問、ふれあいきいきサロン活動による福祉ニーズの把握、新規事業である公用車貸出事業（令和2年度は試験運用）による交通課題の解決に向けた取り組みなど、地域福祉活動の推進に努めました。

## 2. ボランティア活動の充実強化

コロナ禍のためボランティア依頼件数は減少しましたが、感染防止対策を徹底し安心安全な派遣に努めました。

あわせて災害ボランティアセンター運営委員会を開催し、新型コロナウイルス感染状況下での災害ボランティアセンターの円滑な立ち上げと安全な運営をするためのマニュアル策定に向けた協議を行ないました。

### 3. 生活困窮者自立支援事業の推進

自立相談支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が大幅減、あるいは失業で無収入となり生活が苦しいといった相談が多数あり、相談件数は前年の約3倍となりました。

そのような状況の中、就労準備支援事業では前年度からの取り組みである稼働年齢層に対する個別就労支援プログラムを継続実施し、短期間で一般就労したケースがありました。

学習支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、夏休み期間中の学習支援事業「ひみつ基地」については中止せざるを得ませんでした。通年での個別対応学習支援については感染予防対策をとりながら継続実施し、無事志望校に合格した生徒があるなど、個別支援での一定の成果が現れた形となりました。

### 4. 介護保険事業・障がい福祉サービス事業の推進

介護保険事業及び障がい福祉サービス事業収入は、前年度と比較して減少傾向にあります。新型コロナウイルス感染拡大による令和2年4月の緊急事態宣言により、やむを得ず介護サービスの提供時間短縮や利用数の制限を実施した結果、収入が減となった事業所もあるなど、感染拡大防止と安定経営の狭間で非常に困難な事業運営が求められました。

このような状況の中、通所介護だいせんで令和2年3月からの土曜日営業の再開と元気アップ教室の再開、地域密着型通所介護ほほえみでは利用者数の増加による利用定員増(10名→18名)など、利用者及び家族のニーズに応えるべく感染に十分な注意を払いながら事業展開を行ないました。

### 5. 法人の事業運営の健全経営に向けた財政基盤の強化

理事協議会、事業運営担当理事会を開催し、現在実施している事業の見直し、新規事業の検討・協議など、法人の業務執行の役割を持つ理事と職員が協働で健全経営及び財政基盤の強化に向けての協議を行ないました。

# 法人運営・地域福祉事業

## 1. 法人運営事業

### (1) 会議の開催

#### ① 理事会の開催

第1回理事会	
期日・会場	令和2年5月28日(木)保健福祉センターなわ
出席の状況	理事4名・監事2名
議案	第1号議案 令和元年度第4次補正予算(案)について 第2号議案 令和元年度事業報告及び決算(案)について 第3号議案 承認社会福祉充実計画の終了について 第4号議案 令和2年度第1次補正予算(案)について 第5号議案 令和2年度大山町社会福祉協議会長表彰について 第6号議案 理事候補者の推薦について 第7号議案 令和2年度第1回評議員会(定時評議員会)の開催について
審議の結果	第1号～第7号議案原案どおり決議

第2回理事会	
期日・会場	決議の省略(書面決議)の方法により行う。(通知日:令和2年7月13日)
構成人数	理事7名・監事2名
議案	第1号議案 承認社会福祉充実計画の終了について(再提案) 第2号議案 令和2年度第2回評議員会の開催について
審議の結果	第1号～第2号議案原案どおり決議(令和2年7月20日決議)

第3回理事会	
期日・会場	令和2年11月18日(水)保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事6名・監事2名
議案	第1号議案 令和2年度第2次補正予算(案)について 第2号議案 令和2年度第3回評議員会の開催について
審議の結果	第1号～第2号議案原案どおり決議

第4回理事会	
期日・会場	令和3年1月20日(水)保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事7名・監事2名
議案	第1号議案 地域密着型通所介護ほほえみ運営規程一部改正について 第2号議案 介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所介護事業ほほえみ 運営規程一部改正について 第3号議案 令和2年度第3次補正予算(案)について 第4号議案 第4回評議員会の開催について
審議の結果	第1号～第4号議案原案どおり決議

第5回理事会	
期日・会場	令和3年3月17日(水)保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事7名・監事2名
議案	第1号議案 評議員選任規程一部改正について 第2号議案 会員及び会費に関する規程一部改正について 第3号議案 就業規則一部改正について 第4号議案 臨時職員就業規程一部改正について 第5号議案 給与規程一部改正について 第6号議案 経理規程一部改正について 第7号議案 令和2年度第4次補正予算(案)について 第8号議案 令和3年度事業計画(案)について 第9号議案 令和3年度予算(案)について 第10号議案 令和2年度第5回評議員会の開催について
審議の結果	第1号～第10号議案原案どおり決議

## ②評議員会の開催

第1回評議員会	
期日・会場	令和2年6月15日(月)保健福祉センターなわ
出席の状況	評議員11名・監事2名
議案	第1号議案 令和元年度第4次補正予算(案)について 第2号議案 令和元年度事業報告及び決算(案)について 第3号議案 承認社会福祉充実計画の終了について 第4号議案 令和2年度第1次補正予算(案)について 第5号議案 理事の選任について
審議の結果	第1号～第5号議案原案どおり決議

第2回評議員会	
期日・会場	決議の省略(書面決議)の方法により行う。(通知日:令和2年7月20日)
構成人数	評議員13名
議案	第1号議案 承認社会福祉充実計画の終了について(再提案)
審議の結果	第1号議案原案どおり決議 (評議員会の決議があったとみなされた日:令和2年7月29日)

第3回評議員会	
期日・会場	令和2年11月26日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員12名・監事2名
議案	第1号議案 令和2年度第2次補正予算(案)について
審議の結果	第1号議案原案どおり決議

第4回評議員会	
期日・会場	令和3年1月28日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員11名・監事2名
議案	第1号議案 地域密着型通所介護ほほえみ運営規程一部改正について 第2号議案 介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業ほほえみ運営規程一部改正について 第3号議案 令和2年度第3次補正予算(案)について
審議の結果	第1~3号議案原案どおり決議

第5回評議員会	
期日・会場	令和3年3月24日(水)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員12名・監事2名
議案	第1号議案 評議員選任規程一部改正について 第2号議案 会員及び会費に関する規程一部改正について 第3号議案 就業規則一部改正について 第4号議案 臨時職員就業規程一部改正について 第5号議案 給与規程一部改正について 第6号議案 経理規程一部改正について 第7号議案 令和2年度第4次補正予算(案)について 第8号議案 令和3年度事業計画(案)について 第9号議案 令和3年度予算(案)について
審議の結果	第1~9号議案原案どおり決議

### ③監査会の開催

令和元年度決算監査会	
期日・会場	令和2年5月14日(木)福祉センターなかやま
出席の状況	監事2名
監査事項	1. 令和元年度大山町社会福祉協議会業務の執行状況 2. 令和元年度大山町社会福祉協議会会計決算の状況 3. 令和元年度大山町社会福祉協議会資産の状況

令和2年度中間監査会	
期日・会場	令和2年11月5日(木)福祉センターなかやま
出席の状況	監事2名
監査事項	令和2年度上半期事業報告及び予算執行状況について

### ④理事協議会等の開催

第1回理事協議会	
期日・会場	令和2年5月19日(火)保健福祉センターなわ
出席の状況	理事6名・監事2名
協議事項	1. 町指定管理事業について 2. 大山町福祉大会(福祉功労者表彰式)について

第2回理事協議会	
期日・会場	令和2年9月16日(水)保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事6名・監事1名
協議事項	町指定管理事業について

第1回事業運営担当理事会	
期日・会場	令和3年2月5日(金)福祉センターなかやま
出席の状況	理事4名
協議事項	1. 地域見守り事業の見直しについて 2. 令和3年度大山町福祉大会について 3. 地域活動車「つなGo(ごう)カー」貸出事業について

第1回評議員連絡会	
期日・会場	令和2年5月29日(金)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員13名
協議事項	町指定管理事業について

第2回評議員連絡会	
期日・会場	令和2年9月16日(水)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員11名
協議事項	町指定管理事業について

### ⑤役員研修、役員セミナー等の参加・実施

令和2年度市町村社会福祉協議会役員セミナー	
期日・会場	令和3年3月12日(金)福祉センターなかやま(オンライン開催)
出席の状況	役職員10名
内 容	氷見市における重層的支援体制整備事業へ向けた地域福祉の展開について
講 師	氷見市社会福祉協議会(富山県)事務局次長 森脇 俊二 氏

## (2) 委員会の開催

大山町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会	
期日・会場	令和3年2月1日(月)保健福祉センターなわ
出席の状況	委員9名
協議事項	1. 大山町地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について 2. 大山町地域福祉計画・地域福祉活動計画の中間見直しについて

## (3) 法人の運営管理

①	法人会計例月検査	12回(毎月1回)
②	管理職事業所主任ミーティング	4月1日、6月9日、10月13日、12月9日
③	職員研修	8月18日(火) 交通安全研修 10月13日(火) コンプライアンス研修 10月29日(木) 人権・同和問題研修会 11月15日(日) 接遇研修 12月3日(木) 職員健康指導会
④	管理職会	随時開催



⑤	衛生委員会	第1回 6月26日(金) 第2回 8月21日(金) 第3回 10月23日(金) (内容) 新型コロナウイルス感染症対策、職員定期健康診断、ストレスチェック、インフルエンザ感染対策について等
---	-------	--

#### (4) 社協会費納入状況

種別	件数		金額(円)	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
普通会費	4,426	4,492	4,419,600	4,421,100
賛助会費	8	38	16,000	74,000
特別会費	17	37	95,000	210,000
合計	4,451	4,567	4,530,600	4,705,100

※町内企業への働きかけをして、賛助会費及び特別会費が増となった。

#### (5) 香典返し等寄付金状況

種別	件数		金額(円)	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
香典返し	159	162	3,248,000	3,179,000
見舞い返し	1	0	30,000	0
一般寄附	12	5	179,317	21,000
その他(物品)	2	3	2,000	159,600
合計	174	170	3,459,317	3,359,600

※昨年度と比較し全体的に減少した。

## 2. さわやか福祉基金事業

### (1) 調査活動の推進

一人暮らし高齢者世帯等(給食サービス利用者・防災グッズ配布世帯)を定期的に訪問し、ニーズの聞き取りにより生活実態を把握するとともに、必要に応じて関係機関と連携して適切なサービス等に繋げた。

訪問件数	75件
------	-----

### (2) 地域福祉推進研修会の開催

第1回地域福祉推進研修会	
期日・会場	令和2年8月24日(月) ※資料配布日
内 容	資料配布 「地域で活躍されている皆さんへつながりをなくさないために～今できること～」
配 布 先	民生児童委員、福祉推進員、民生児童委員協議会長(合計235名)
考 察	新型コロナウイルス感染防止のため、研修会の開催は中止。コロナウイルス感染状況下でも活動できる工夫をするため鳥取県社会福祉協議会が作成した資料を福祉推進員、民生児童委員へ配布した。  資料の配布後特に反応は無いが、少しずついくつかの集落で集会をしているとの事。工夫をすれば何か活動できるということを理解していただけたのではないかと感じている。

第2回地域福祉推進研修会	
期日・会場	令和3年3月10日(水) ※資料配布日
内 容	・資料配布「福祉推進員の役割について」 ・研修用 DVD 配布 講師 栗木 剛 氏(motto ひょうご事務局長)
配 布 先	民生児童委員、福祉推進員、民生児童委員協議会長(合計235名)
考 察	会場を3か所に分けリモートで研修を行う計画をしていたが、新型コロナウイルス感染が収まらないため中止。研修用 DVD「福祉推進員の役割」を作成し、福祉推進員、民生児童委員へ配布し各自視聴いただくよう通知した。  講演内容を収録した DVD の配布はこれまで例が無く、初の試み。内容は例年の講演時間の約半分(30分)であるが、コロナ禍で資料だけでは伝えきれない所を補うことができたのではないかと感じている。

### (3) 地域見守り事業

#### ① 配食型給食サービス

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、5月以降はボランティアによる調理を中止し弁当を注文。配食はボランティアで実施。8月は食中毒の危険性があるため配食は中止。安否確認は継続実施した。

種別	調理ボランティア数		配食ボランティア数		配食数	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
中山支所	173名	9名	74名	82名	268食	202食
大山支所	202名	11名	193名	172名	519食	338食
合計	375名	20名	267名	254名	787食	540食

#### ② 会食型給食サービス

新型コロナウイルス感染症拡大状況の中、感染予防対策を充分に行ないながら、少人数での会食事業を実施された。

開催日	開催地区	参加者数
4月5日(日)	八重	11名
6月21日(日)	八重	11名
10月18日(日)	八重	10名
2月2日(火)	八重	10名
3月3日(水)	八重	10名
3月31日(水)	八重	10名

### 3. 生活支援体制整備事業

住み慣れた地域で最後まで生き生きと暮らしていけるよう、地域の特性や高齢者の生活課題(困りごと)を把握し、サービスの開発、担い手の発掘・育成、ネットワークづくりなどを行ない、多様な主体によるサービス提供を推進する事業。

#### (1) 有償ボランティア「ささえあいたい」の推進

一人暮らし高齢者等の生活上の困りごとを支援する仕組みづくりの一環として、有償ボランティア「ささえあいたい」を推進し、困りごとがある人と援助できる人をつないでいく地域の支え合い・助けあい活動の推進を図った。

	中山地区	名和地区	大山地区	合計
延べ利用件数	0件	38件	3件	41件
実利用件数	0件	2件	2件	4件
依頼会員数	0名	3名	3名	6名
援助会員数	0名	3名	3名	6名

## (2) 地域福祉座談会の開催

通年30集落での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により18集落で開催中止または延期となった。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会の事業紹介(地域福祉活動の説明)</li> <li>・地域の支え合い活動の紹介(DVD視聴)</li> <li>・支え愛マップの説明・作成等</li> </ul>		
開催集落数	12集落		
参加人数計	111名		
<b>【開催集落】</b>			
集落名	日程	会場	参加人数
坪田2区	6月8日(月)	上坪田集会所	3名
妻木	7月28日(火)	妻木公民館	12名
ニューヴィータ	8月1日(土)	保健福祉センターだいせん	21名
坪田1区	9月17日(木)	下坪田公民館	8名
下大山	9月24日(木)	下大山公民館	8名
大雀	9月29日(火)	大雀集会所	14名
上木料	10月15日(木)	上木料集会所	4名
上大山	10月27日(火)	上大山公民館	6名
上坪東	11月5日(木)	上坪東集会所	7名
御来屋8区	11月13日(金)	保健福祉センターなわ	2名
中尾	11月25日(水)	中尾集会所	8名
曲松	12月6日(日)	曲松公民館	18名

### (3) 生活支援コーディネーター活動状況

各地域での生活課題を解決するため、行政担当課、地域自主組織等との協議を行なった。

期日・会場	協議内容	参加人数
7月7日(火) 保健福祉センターなわ	地域自主組織を活かした町づくりの推進について	4名
7月7日(火) ひかり館	光徳地区の困りごとについて (アンケート結果検証)	7名
7月13日(月) 保健福祉センターなわ	2層協議体設置に向けた今後の進め方について	3名
7月13日(月) かあら山	・生活支援体制整備事業について ・かあら山の現状について	3名
8月20日(木) ひかり館	共助交通について(勉強会)	16名
12月9日(水) 保健福祉センターなわ	・社協事業説明 ・地域自主組織との今後の関わり方について	2名
12月21日(月) かあら山	・公用車貸出事業について(説明) ・当地区の最近の様子について	2名
1月21日(木) 保健福祉センターなわ	下中山地区の福祉分野への取り組みについて	4名
1月25日(月) 保健福祉センターなわ	公用車貸出事業について ほか	2名
2月2日(火) 保健福祉センターなわ	かくわの郷庄内来年度事業について ほか	2名
2月12日(金) ひかり館	・光徳地区高齢者の困りごと聞き取りについて ・公用車貸出事業について	11名

## 4. 地域における公益的な取り組み(えんくくり事業)

深刻な生活課題の解決に向け、既存の制度の対象とならない事案へ対応するため、鳥取県社会福祉協議会を基幹とし県内の社会福祉法人の連携のもと総合相談・支援体制の構築と自立支援のための協働事業を実施した。

支援件数	2件
延べ支援回数	2回
支援内容	生活上緊急的措置が必要な案件 (入職前検診費用、電気代などの現物支給)

## 5. 広報・啓発活動の充実

### (1) 広報誌「ほほえみ」の発行

号数	発行月	主な内容
77号	令和2年 4月	座談会開催報告、令和2年度事業計画・予算、会費納入のお願い、 会長挨拶、地域福祉推進研修会報告、職員人事異動、役員交代のお知 らせ、福祉大会中止のお知らせ 他
78号	令和2年 6月	支え愛マップについて、令和元年度社協事業報告・決算報告、住居確 保給付金のご案内 他
79号	令和2年 8月	サマースクール、福祉功労者表彰式、座談会開催報告、会費納入のお 礼、サロン活動紹介、令和2年7月豪雨義援金募集、エコキャップ回収 BOX 設置、介護の入門的研修受講者募集 他
80号	令和2年 10月	大山西小高齢者疑似体験学習、コロナ禍でのつながり方について、車 椅子寄贈(郵便局)、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の お知らせ、災害義援金実績報告 他
81号	令和2年 12月	災害救援ボランティア研修会報告、サロン世話人研修会報告、中山小 高齢者疑似体験学習、募金運動ご協力のお礼、賛助・特別会員紹介、 大雀海岸清掃実施報告 他
82号	令和3年 3月	防災グッズ配布事業、共同募金配分金活用助成事業紹介、社協会費 納入のお礼、生活困窮者自立支援事業紹介 他

### (2) ホームページの運営(随時更新)

ホームページを開設し、新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付の案内など情報発信、  
研修会の参加者募集等、広報活動に努めた。

## 6. ボランティア活動の推進

ボランティア登録者数	148名(令和3年3月31日現在)
依頼件数	17件(令和元年度40件)
幹旋件数	14件(令和元年度37件)
派遣人数	延べ387名(令和元年度1,123名)

## 【ボランティア派遣状況】

期 日	事業名	依頼者	活動場所	活動内容	活動人数
4月14日	春の名和公園を歩こう	名和小学校	名和公園	見守り	3
6月10日	校内マラソン大会	名和小学校	グラウンド及び学校周辺道路	見守り	6
10月29日	校内マラソン大会	名和小学校	グラウンド及び学校周辺道路	見守り	5
11月4日	保護者懇談	名和中学校	名和中学校	通訳	1
12月9日	幼児食講習会	役場こども課	保健福祉センターなわ	託児	5
3月23日	名和ふれあいサークルワークショップ	名和ふれあいサークル	ふれあい会館	託児	2
通年	傾聴ボランティア	地域密着型通所介護ほほえみ	地域密着型通所介護ほほえみ	傾聴	8
通年	離乳食講習会	こども課	保健福祉センターなわ	託児	15
通年	精神デイケア	健康対策課	保健福祉センターなわ	送迎	2
通年	精神デイケア	健康対策課	保健福祉センターなわ	見守り調理	10
通年	ペアレントサポートプログラム	こども課	保健福祉センターなわ	託児	26
通年	乗馬セラピーボランティア	大山乗馬センター	大山乗馬センター	乗馬体験支援、見守り	30
通年 (毎週水曜日)	給食サービス(中山地区)	社協	中山公民館	給食(弁当)の調理・配達、見守り	調理9 配食82
通年 (毎週水曜日)	給食サービス(大山地区)	社協	保健福祉センターだいせん	給食(弁当)の調理・配達、見守り	調理11 配食172

### (1) 災害時に対応するボランティア活動の支援

新型コロナウイルス感染拡大状況下で災害が発生した際に、災害ボランティアセンターを円滑に設置し、感染予防対策を取りながら安全に運営するためのマニュアル策定に向けて、運営委員会を開催した。

第1回災害ボランティアセンター運営委員会	
期日・会場	令和2年11月20日(金) 保健福祉センターなわ
協議内容	・新型コロナウイルスの感染状況下における災害ボランティアセンター運営マニュアル策定について ・災害ボランティアセンター設置運営に係る協定書作成について
参加者	10名

## (2) ボランティア育成事業

企業向け手話教室
※広報誌等で広報活動を行なった。問い合わせはあるが実施に繋がらず。

男の料理塾
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施せず。

クリーン作戦(町内清掃活動)
※令和2年4月25日(土)に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

災害救援ボランティア研修会	
期日・会場	令和2年11月21日(土) 保健福祉センターなわ
内 容	講義・実技 ○災害の基礎知識や日頃の備えについて ○ロープワーク、防災用品や非常食の体験、段ボールベッド、防護服の脱着の仕方等 講師:鳥取県自主防災活動アドバイザー 船越 伸子 氏
参 加 者	25名
考 察	こどもから大人まで防災について体験しながら学ぶことを目的として開催した。自分の身を守るためにはどうしたらよいのか、日頃からできる備えは何か、参加者から防災に関するアイデアをいくつか紹介した。参加者の中には、親子で参加された方もあった。

## (3) 福祉教育の推進

学校関係者と連携して、児童・生徒に学習の機会および体験学習の場を提供することにより、福祉教育の促進を図った。

福祉教育推進校補助金の助成	
※町内小学校4校、中学校3校に合計410,000円助成	
福祉教育推進校連絡会の開催	
期日・会場	令和2年6月25日(木) 保健福祉センターなわ
内 容	令和2年度の福祉教育推進の方針について 等
参 加 者	6名(町内小中学校福祉教育担当教職員)



高齢者疑似体験サポーター派遣	
期 日	令和2年9月11日(金) 大山西小学校 令和2年11月20日(金) 中山小学校

車椅子体験サポーター派遣	
期 日	令和2年12月1日(火) 中山小学校

サマースクール(夏休み福祉体験学習)	
期日・会場	令和2年8月4日(火) 保健福祉センターなわ
内 容	臨床美術体験学習 講師:クリニカルアートあわー臨床美術士 井澤ゆうか氏 ほか2名
参 加 者	31名
考 察	新型コロナウイルス感染防止対策のため、外部施設の見学等は中止。保健福祉センターなわ内にて、創作活動により高齢者の認知症状改善や、子どもの感性を育む効果が期待される臨床美術体験学習を開催した。

春休みチャレンジスクール	
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。	

#### (4) 第16回大山町福祉大会(福祉功労者表彰式)の開催

期日・会場	令和2年6月19日(土) 保健福祉センターなわ
内 容	福祉功労者表彰式(大山町社会福祉協議会長表彰)
被表彰者	14名
考 察	「共に生きる社会をめざして」をテーマに、互いに支え合いながら安心して暮らせるまちづくりの推進と地域力の向上を啓発するとともに、永年社会福祉の推進に貢献された方々を表彰し、感謝の意を表するため開催。例年通りの開催に向けて企画検討を進めるも、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講演会やイベントは中止し、福祉功労者表彰式のみ執り行なった。

## 7.ふれあいのまちづくり事業

### (1) 心配ごと相談

開設日	毎月第2水曜日 午前9時30分～12時
相談員	民生児童委員
会場	保健福祉センターなわ
相談件数	8件(令和元年度5件)
考察	<p>4月～5月は新型コロナウイルス感染予防対策のため開催中止。</p> <p>今年度の事例として、心配ごと相談員より情報の提供を受け、社会福祉協議会から再度相談者に詳細を聞き取り、その後法律相談へとつないだケースが1件あった。</p> <p>今後については、年々相談件数が減少していること、弁護士など専門分野の無料相談を受けられる機会が増えていること、インターネットやSNSの普及により情報が得られやすくなっていることを理由に、継続または開設頻度について再検討する必要があると思われる。</p>

### (2) 法律相談

開設日	毎月第4水曜日 午前9時30分～11時30分
相談員	弁護士
会場	保健福祉センターなわ
相談件数	28件(令和元年度38件)
考察	<p>前年度に比べ相談件数は10件減少。</p> <p>今年度、法律相談と社協が実施する生活困窮者自立支援事業が連携を図った事例は2件あった。担当の弁護士より相談者に対して適切な助言をいただいている。</p> <p>昨今のコロナ禍における困窮世帯増加の実情を鑑みると、今後は増加傾向に転じることも考えられる。また現在の20分という相談時間は、複合的な問題を抱えた相談内容には決して充分とはいえず、相談時間が超過する場面もみられている。その場合、担当相談員が休息をとる時間も確保することができない。以上の事由から、今後については相談時間の増、あるいは相談回数の増(月2回)を検討する必要があると思われる。</p>

### (3) 心の健康相談

開設日	令和2年5月20日(水)、令和2年7月21日(火)、令和2年9月11日(金) 令和2年11月18日(水)、令和3年1月22日(金)、令和3年3月11日(木)
相談員	医師・心理士
会場	保健福祉センターなわ
相談件数	10件(令和元年度12件)
考察	前年度に比べ若干の減少。 相談内容の把握については役場健康対策課が担当しており、社協の役割は相談受付と隔回での諸謝金支払いのみ。令和3年度からは行政の単独開催となる。

## 8. 日常生活自立支援事業

認知症や知的障がい、精神障がい等、判断能力が十分でない方を対象に、日常生活を営むのに必要なサービスの利用援助や日常的金銭管理などを行い、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援を行った。

地区名	中山地区	名和地区	大山地区	計
利用件数	1	4	3	8
相談件数	1	1	3	5
終了件数	0	1	1	2
支援員(人)	1	3	2	6
利用延べ回数	7	51	12	70

利用者の内訳	高齢者7件 知的障がい者1件
相談件数内訳	高齢者5件
終了件数内訳	知的障がい者1件 高齢者1件
考察	高齢者の方の相談は、昨年度より増加。終了件数の内1件は、自己管理と転出を希望され契約終了。もう1件は、契約者死亡のため終了となった。

## 9. 生活福祉資金貸付事業利用状況

令和2年3月末より、新型コロナウイルス感染症により休業や失業した方を対象とした特例貸付が開始となった。

前年度新規貸付件数1件に対し、今年度は大幅増。コロナ特例貸付対象者がほとんどを占めた。

相 談 者 数		82件	
貸 付 数		※140件	※貸付人数は69名(一人が複数の貸付を受けられたケースが多数あり)
貸付対象外(相談のみ)		13件	
貸付内訳	緊急小口資金	2件	
	特例緊急小口資金	56件	
	特例総合支援資金	48件	
	特例総合支援資金(延長)	23件	
	特例総合支援資金(再貸付)	10件	
	その他	1件	

## 10. 共同募金配分金事業

### (1) 共同募金・歳末たすけあい募金活動実績

種 別	令和元年度実績	令和2年度実績
赤い羽根共同募金	1,859,902円	1,650,391円
歳末たすけあい募金	1,440,199円	1,503,791円

### (2) 共同募金配分金活用助成事業

集落、グループ等、自らの企画で地域福祉を充実させるための活動等に対し助成事業を展開した。(11団体)

団体及び集落名	内容
大塚	大塚世代間交流事業
御来屋1区	御来屋1区体育大会及び交流会
福尾	生活習慣病予防・閉じこもり予防事業
塩津	世代間交流事業・ボランティア事業
安原いきいきサロン	安原いきいきサロン事業
種原	種原自治会女性会サロン活動
稲光	福祉活動にかかる備品購入事業
上大山	上大山ふれあいフェスティバルふれあいきいきサロン
八重	桜並木ぼんぼり設置、盆踊りのやぐら提灯
所子	所子盆踊り大会
坪田2区	公民館サロン坪田のしゃべり場「ツボトーク」

### (3) 外出支援タクシー券配布事業

赤い羽根共同募金の配分金を活用し、日頃の通院や買い物等の際に交通手段がなく支援が必要である方に対して外出の支援を行うことを目的に実施。

実施期間	令和2年7月1日～令和3年2月28日
対象世帯	75歳以上の一人暮らし世帯、または支援が必要な高齢者世帯で 運転免許を保持していない方
配布世帯	164世帯

### (4) 歳末たすけあい募金配分事業

#### ① 布団クリーニング事業

支援を必要とされる一人暮らし高齢者世帯、住宅で寝たきりの方がおられる世帯等、要介護世帯を対象に布団クリーニング事業を実施。

実施期間	令和2年11月30日～令和2年12月4日
実施世帯	43世帯

#### ② 防災グッズ配布事業

支援が必要な一人暮らし高齢者世帯へ民生児童委員、福祉推進員、社協職員が訪問立会いのもと、防災グッズの配布を実施。

実施時期	令和3年3月2日(火)
対象世帯	70歳以上の一人暮らし世帯等 43世帯

## 11. 生きがい活動支援地域型事業(ふれあい・いきいきサロン活動)

サロン開催用チラシの作成や、レクリエーション用具の貸出し、講師派遣の相談支援等、ふれあい・いきいきサロン活動の自主開催の支援を行った。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催予定だったサロンが中止、または開催を自粛する集落もあり、実施回数が大幅に減少した。

### (1) ふれあい・いきいきサロン活動の普及促進

地 区	令和元年度				令和2年度			
	大山	名和	中山	合計	大山	名和	中山	合計
実施回数	34	30	31	95	10	3	18	31
開催地区数	20	14	16	50	7	3	8	18
延べ参加者数	803名				240名			

## (2) ふれあいいきいきサロン世話人研修会の開催

期日・会場	令和2年11月9日(月) 保健福祉センターなわ 令和2年11月11日(水) 保健福祉センターだいせん 令和2年11月13日(金) 福祉センターなかやま
内 容	○ふれあいいきいきサロンの役割について ○サロンで出来るレクリエーション・感染症対策等の紹介
参加者数	名和地区15名、大山地区11名、中山地区13名
考 察	感染症対策のため会場を3地区に分け開催。例年並みの参加者数であった。今年度はサロンを自粛、中止する集落が相次ぐ中、各集落に対しサロン開催状況やコロナ対策等どのような対応を行っているのか事前にアンケート(回答率63%)を実施。それをもとに研修会を開催し、参加者同士で情報共有や意見交換等を行った。 今後もサロン活動の発展を促していくために、サロン世話人研修会は継続していく必要がある。

## 12. 家族介護者交流事業

要介護度3以上の要介護者を在宅で介護されている家族介護者を対象としたリフレッシュ事業

期日・会場	令和2年10月20日(火) とっとり花回廊~プリムローズガーデン
内 容	散策・昼食・交流会
参加者数	9名
考 察	内容や時期、利用される方の要望を取り入れながら開催したが利用者数は横ばい。委託事業であることから、今後行政と協議していく必要がある。

## 13. 家族介護教室事業

在宅で介護されている家族を中心に、介護に関する知識や技術の習得、介護者の健康づくりなどを目的に開催。

期日・会場	令和3年3月20日(土) 保健福祉センターだいせん
内 容	講義「ベッド上の介護、ポジショニングについて」
講 師	ナチュラルハートフルケアネットワーク とっとり西部しじみ会 (理学療法士1名、介護福祉士1名)
参加者数	11名
考 察	講師に西部地区で活動している理学療法士等を迎え、実際の介護に役立つ内容で行った。参加者数は減少傾向にあることから、早めの広報や町内の福祉施設等に働きかけるなど工夫が必要である。

## 14. 外出支援サービス事業

要介護状態の高齢者や障がい者で、一般公共交通機関を利用することが困難な方などを対象に、通院のための送迎サービスを実施した。

令和元年度		令和2年度	
延べ利用者数	実利用者数	延べ利用者数	実利用者数
1,183人	40人	801人	35人

## 15. 葬儀用祭壇の貸出実績

種別	中山支所		名和支所		大山支所		合計	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
仏式祭壇	12	7	25	15	1	0	38	22
神式祭壇	0	0	3	3	0	0	3	3
合計	12	7	28	18	1	0	41	25

## 16. 福祉バスの運行実績

利用団体	令和元年度		令和2年度	
	利用回数	延べ人数	利用回数	延べ人数
町関係	19	552	2	28
社協関係	5	79	1	10
老人クラブ関係	18	370	3	41
身障協会関係	2	29	0	0
その他団体	11	260	3	41
合計	55	1,290	9	120

## 17. 福祉センター利用実績

両センターともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度と比べて大幅に利用数が減少した。そのような中、玄関への消毒液及び検温器の設置、会議室の利用定員の制限等、感染防止対策に努めた。

### ①福祉センターなかやま利用実績

	令和元年度		令和2年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
大会議室	16	639	14	304
中会議室	6	82	6	64
軽作業室	38	207	11	85
介護者教育室	20	50	9	24
カウンセリング室	0	0	0	0
合計	80	978	40	477

### ②保健福祉センターだいせん利用実績

	令和元年度		令和2年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
集会室	78	1,925	40	839
大会議室	2	19	1	30
中会議室	17	330	18	203
小会議室	23	276	19	184
相談室	10	51	2	3
2階研修室	49	894	16	188
1階研修室	55	478	19	146
調理実習室	32	237	7	95
機能訓練室	54	1,430	23	383
きゃらぼく室	133	736	72	358
工房	31	126	24	358
合計	484	6,502	241	2,539



# 生活困窮者自立支援事業

## 1. 自立相談支援事業

### (1) 相談の受理及び支援状況

令和2年度相談受理件数は91件。当事者からの相談が82件、関係機関等からの相談が9件であった。新規相談件数は前年度(32件)に比べ大幅増。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて休業または失業し、減収したことで生活困窮に陥った方の相談が多数を占めた。新規の支援プラン対象者は無かったが、再プラン対象者は4名。いずれの対象者も就労、家計、介護等に対する複合的かつ長期的な課題を抱えており、今後も継続的な支援が必要である。

#### 【月別相談件数及び支援プラン数一覧】

月	相談件数	新規プラン数		月	相談件数	新規プラン数		月	相談件数	新規プラン数	
		再プラン数	再プラン数			再プラン数	再プラン数				
4月	15	0	0	7月	10	0	0	10月	4	0	0
		1				0				1	
5月	17	0	0	8月	5	0	0	11月	7	0	0
		1				0				0	
6月	6	0	0	9月	7	0	0	12月	6	0	0
		0				1				0	
相談件数 累計		91		プラン数 累計		4		新規プラン数 累計		0	
								再プラン数 累計		4	

#### 【相談経路内訳】

本人	82 人	関係機関	9 人	知人家族	0 人	アウトリーチ	0 人
----	------	------	-----	------	-----	--------	-----

#### 【相談・支援の実施状況】

来所相談・支援	9 回	住居確保給付金	相談件数	5 件
電話相談・支援	8 回		支給決定件数	1 件
訪問・面談	7 回	生活福祉資金貸付	相談件数	82 件
同行支援	9 回		貸付決定件数	69 件
ケース検討	2 回	えんくるり事業	支援件数	2 件
支援機関等調整	1 回	フードパートナー事業	支援件数	1 件

### (2) 相談者の属性

前年度男女比はほぼ1:1であったが、今年度は相談者数のうち約3分の2は男性であった。年齢別にみると、30~70代はほぼ均一に推移しているが、40~50代が若干多く、働き盛りの年代がコロナウイルスによる影響を受けている様子が伺える。

#### 【性別】

男性	63 人	女性	28 人
----	------	----	------

#### 【年代別】

20代	4 人	60代	13 人
30代	13 人	70代	13 人
40代	18 人	80以上	2 人
50代	22 人	不明	6 人

### (3) 相談者の抱える課題

前年度末から新型コロナウイルス感染症の影響での減収相談があった。以降感染収束が見られず拡大傾向となり、休業および失業による困窮状態が継続しているケースがほとんどを占めている。対象者の多くがコロナ特例生活福祉資金貸付を受けており、また特例貸付を複数受けている相談者も多くあることから、今後のコロナ収束状況によっては就労及び負債の課題解決は容易ではないと考えられる。

#### 【相談内訳】(複数回答あり)

相談内容	月別 (件数)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病気や健康・障害のこと	1			1	1		1	1	1				6
住まいについて						1	1						2
収入・生活費のこと	14	17	6	9	5	5	3	5	5	4	6	4	83
家賃、ローン、税金、公共料金の支払いについて			1				1		1				3
債務について	1				2		1	1	2				7
仕事探し、就職について	7	2	2	1	2	1	2	1	1				19
仕事上の不安やトラブル		1	1										2
地域との関係について													0
家族との関係について	1							1					2
子育てのこと													0
介護のこと	1								1				2
ひきこもり・不登校													0
DV・虐待													0
食べるものがない				1									1
その他						1			3				4
合計	25	20	10	12	10	8	9	9	14	4	6	4	131

## 2. 就労準備支援事業

前年度同様、就労支援プログラム対象者と居場所対象者を区分けした支援を行なった。就労支援対象者には個別プログラム(自己分析・振り返り)を作成し目標達成に向けた支援を行ない、就労支援プログラム対象者のうち1名は年度内に就職が決まり現在も就労継続中。1名は令和3年度からの就職が決まるなど、個別支援の成果が表れている。

#### 【登録者数】

区分	登録人数
就労支援プログラム	6人
居場所支援	3人

#### 【月別支援実績】

月	支援延人数	月	支援延人数	月	支援延人数	月	支援延人数
4月	6人	7月	15人	10月	22人	1月	14人
5月	11人	8月	13人	11月	17人	2月	12人
6月	15人	9月	22人	12月	9人	3月	16人
年間延べ支援数合計						172人	

## 3. 子どもの学習・生活支援事業

ひとり親家庭などさまざまな家庭環境や、発達障がい等の課題を抱える子どもの学習支援を実施。本人や家族の状況に応じて週1~2回、1~2時間の支援を個別に実施した。新型コロナウイルス感染症の影響で4~5月の学校臨時休校の際には支援実施出来ず。その後は感染症拡大防止対策を取りながらの支援を行なった。

夏休み期間を利用した教室型学習支援(ひみつ基地)については、コロナ禍により島根大学支援員の確保が出来ず中止とした。

長期間慣れ親しんだ学習支援員の下で学び、無事県立高校に合格した生徒もおり、本人にあった個別支援、体験支援の効果が実感できた。

【登録者数】

区分	登録人数
登録児童数(小学生)	2人
登録児童数(中学生)	3人
登録支援員数	5人

【月別支援実績】

月	支援延人数	月	支援延人数	月	支援延人数	月	支援延人数
4月	19人	7月	23人	10月	18人	1月	15人
5月	18人	8月	19人	11月	16人	2月	12人
6月	21人	9月	16人	12月	17人	3月	14人
年間延べ支援者数合計							208人

4. 家計改善支援事業

家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が管理できるよう支援計画を作成し早期の生活再生の支援を実施した。個別指導回数は相談者の状況に応じ、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながらの面談等支援を行なった。

【支援実績】

利用者数	2人	支援内容	・収支状況の聞き取りやレシートの確認による収支把握 ・家計管理表の作成 ・負債等返済計画の作成等
支援延回数	11回		

5. 関係機関との連携

(1) 支援調整会議の開催

支援プラン作成の会議として、関係機関職員、自治体担当職員等に参加いただき随時開催した。

支援調整会議開催数	3回
支援対象者	再プラン対象者4名

(2) 関連会議・研修会への参加

関係機関連絡会	3回(うち書面会議1回)
その他会議・研修会等	15回(うちオンライン7回)

(3) 大山町生活困窮者等地域支援ネットワーク推進会議の開催

期日	令和2年9月10日付で事業実施状況報告を文書発送
会場	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
参加人数	町内小中学校長、保育所長、民生児童委員、行政各課課長、福祉施設長ほか合計35名に文書発送

6. 広報・啓発活動

- ① 広報誌掲載・・・年2回全戸配布
- ② 地域福祉座談会での町民を対象とした事業説明
- ③ ホームページへの掲載
- ④ 地域自主組織の活動拠点、行政窓口等にパンフレット配布

# 介護保険事業

## 1. 居宅介護支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 2年度 合計	令和 元年度 合計
介護給付	117	117	121	116	116	114	120	121	119	122	116	115	1414件	1457件
予防給付	27	27	27	28	28	27	25	28	28	26	26	25	322件	311件
ケアマネジ メントA	21	19	22	21	19	18	19	18	16	18	17	17	225件	302件
ケアマネジ メントB	5	4	6	7	13	13	12	12	10	9	9	9	109件	59件
合計	170	167	176	172	176	172	176	179	173	175	168	166	2070件	2129件
考 察	利用件数は減少しているが、職員の配置数の減少もあり、一人当たりの受け持ち件数は増加している。 6月より通所介護だいせんの元気アップ教室を再開し、ケアマネジメントBの実績が増えている。													

予防給付	レンタル、または医療系サービス(デイケア、訪問看護、訪問リハ)利用者・ケアマネジメントA+レンタル、医療系利用者
ケア マネジメント A	総合事業利用者で福祉系(デイサービス、訪問介護)を利用。あるいは介護認定で非該当となった事業対象者(チェックシートのみでの該当者)で福祉系のサービス利用者
ケア マネジメント B	元気アップ教室(介護予防教室)利用者で入浴は基本提供していない。

## 2. 訪問介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 2年度 合計	令和 元年度 合計
身体介護	138	120	125	140	116	114	108	125	105	133	96	102	1422回	2126回
生活援助	108	119	122	102	135	132	150	124	135	133	136	148	1544回	904回
身体生活	34	32	26	26	24	25	22	40	39	34	38	50	390回	865回
総合事業	146	120	131	138	117	120	118	104	105	97	98	101	1395回	1427回
合計	426	391	404	406	392	391	398	393	384	397	368	401	4751回	5322回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均利用 者数(R2)	月平均利用 者数(R1)
実利用者数 (介護)	25	27	29	28	28	26	25	25	26	27	28	29	26.9人	26.6人
実利用者数 (総合事業)	21	18	18	18	18	16	17	16	16	16	16	14	17.0人	18.8人
考 察	介護・予防ともに死亡、入所あり。特に介護度が高く、利用頻度の多い方の中止が数名あった。新規利用者は増加しているが、生活援助での依頼も多く、身体介護としての利用回数が少ない。総合事業も減少傾向にある。													

### 3. 地域密着型通所介護ほほえみ(中山支所)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 2年度 合計	令和 元年度 合計
営業日数	22	21	22	23	21	22	22	21	22	20	20	23	259日	65日
(介護)延べ 利用者数	155	158	172	196	179	210	211	192	188	177	179	203	2220人	499人
(総合)延べ 利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人	0人
合計	155	158	172	196	179	210	211	192	188	177	179	203	2220人	499人

※1日あたりの平均利用者数 8.6人

考 察	昨年度1月より地域密着型通所介護に転換し、定員10名で実施している。年度当初は定員に達していなかったが、少しずつ利用者が増加し、現在は利用者増に対応できるよう定員を増やし(18名)利用者獲得に努めている。
-----	--

#### 元気アップ教室ほほえみ(通所型サービスA)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 2年度 合計	令和 元年度 合計
営業日数	2	4	5	9	8	9	9	8	9	8	8	9	88日	13日
延べ 利用者数	3	6	10	17	17	30	27	27	23	17	17	23	217人	25人

※1日あたりの平均利用者数 2.5人

考 察	徐々にではあるが登録人数は増加している。しかし定員には達していないので、関係機関に情報提供をし利用増に繋げたい。
-----	--

### 4. 通所介護だいせん(大山支所)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 2年度 合計	令和 元年度 合計
営業日数	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	24	27	310日	257日
(介護)延べ 利用者数	504	373	614	611	541	614	634	587	601	504	472	540	6595人	5326人
(総合)延べ 利用者数	94	52	103	101	93	96	102	90	98	88	98	102	1117人	1111人
合計	598	425	717	712	634	710	736	677	699	592	570	642	7712人	6437人

※1日あたりの平均利用者数 24.9人

考 察	4月末の緊急事態宣言を受け、受け入れ時間や利用数の制限を実施。このことにより収入減となった。6月以降は徐々に利用数増となるが、12月～2月まで冬期の施設入所等に伴い減少となる。3月より回復傾向みられる。
-----	---

#### 元気アップ教室だいせん(通所型サービスA)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 2年度 合計	令和 元年度 合計
営業日数	0	0	2	4	4	4	5	4	4	3	2	4	36日	0日
延べ 利用者数	0	0	6	11	23	21	25	16	17	17	9	18	163人	0人

※1日あたりの平均利用者数 4.5人

考 察	6月より事業実施。冬期は積雪等により事業出来ない日があり、減収となる。休まず来られる方が殆どで、事業を楽しんでおられる。今後は利用者増に努め介護予防事業として充実させていきたい。
-----	---

# 障がい福祉サービス事業

## 1. 支援訪問介護だいせん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 2年度 合計	令和 元年度 合計
身体	162	160	134	141	133	128	154	115	103	99	96	129	1554回	2059回
生活	60	61	64	64	67	65	69	56	48	43	41	48	686回	965回
移動支援	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	9回	8回
合計	223	221	199	206	201	194	224	172	152	142	137	178	2249回	3032回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均利用 者数(R2)	月平均利用 者数(R1)
実利用者数	17	17	15	16	18	18	18	17	14	14	16	14	16.2人	19.5人
考 察	介護保険に移行(65歳以上)された利用者あり。入院や入所等での利用中止や、本人の意向による利用回数の削減もある。 移動支援事業については、コロナの影響により中止となっている利用者が1名。3月末で他事業所への移行が1名。													

## 2. 支援通所介護だいせん(基準該当生活介護)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 2年度 合計	令和 元年度 合計
営業日数	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	24	27	310日	257日
延べ 利用者数	67	24	48	52	50	50	48	44	42	40	40	44	549人	525人

※1日あたりの平均利用者数 1.8人

考 察	5月より介護への移行が2件あり減。体調が安定しない方もあり、利用件数は横ばい。昨年に比べると、利用日の日数増に伴い若干の利用数増となる。
-----	--

## 3. サポートセンターだいせん(特定・委託相談支援事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 2年度 合計	令和 元年度 合計
障害者 相談支援	24	20	22	18	18	24	23	20	24	18	21	21	253件	275件
障害児 相談支援	2	1	4	1	0	2	1	1	2	1	0	3	18件	20件
請求件数	26	21	26	19	18	26	24	21	26	19	21	24	271件	295件
一般相談	9	5	7	9	15	5	14	15	8	9	8	8	112件	150件
考 察	2名体制だったが、10月より1.5名体制となり、新規は受けず支援を行っている。一般相談では困難事例が多く、関わる時間数も多い。													

令和2年度 大山町社会福祉協議会職員研修状況報告  
(令和3年3月31日現在)

【福祉総務課】

No.	期日	内 容	会 場	参加者
1	7月3日	共助交通を通じた人材育成成果報告会	米子ふれあいの里	2名
2	7月17日	令和2年度第1回市町村社協常務理事・事務局長会議	倉吉福祉センター	1名
3	7月21日	生活困窮者自立支援事業担当者連絡会	米子コンベンションセンター	2名
4	8月28日	第1回市町村共同募金委員会担当者会議	上井公民館	1名
5	9月23日	生活困窮者自立支援推進会議	米子コンベンションセンター	1名
6	10月1日	日常生活自立支援事業専門員連絡会	米子ふれあいの里	1名
7	10月9日	市町村社協ボランティアセンター連携強化会議	オンライン会議	1名
8	10月15日	包括的支援体制整備に係るトップセミナー	倉吉未来中心	1名
9	10月29日	生活困窮者自立支援都道府県研修に係る担当者研修(前期)	オンライン研修	1名
10	10月30日	地域ファシリテーター養成研修会(第1回)	西部総合事務所	2名
11	10月30日	生活困窮者自立支援事業主任相談支援員養成研修	オンライン研修	1名
12	11月11日	生活困窮者自立支援事業現任研修会	まなびタウンとうはく	2名
13	11月12日	あいサポートメッセンジャー養成研修会	米子ふれあいの里	2名
14	11月17日	生活支援コーディネーター研修	まなびタウンとうはく	2名
15	11月18日	地域ファシリテーター養成研修会(第2回)	西部総合事務所	3名
16	11月19日	支え愛マップづくりインストラクター養成研修会	倉吉福祉センター	1名
17	11月25日	中間的就労支援推進セミナー	保健福祉センターなわ	2名
18	12月11日	福祉学習推進者スキルアップ講座	新日本海新聞社中部本社	2名
19	12月21日	地域ファシリテーター養成研修会(第3回)	西部総合事務所	1名
20	12月21日	生活困窮者自立支援事業主任研修会	オンライン研修	1名
21	12月22日	令和2年度第1回市町村社協常務理事・事務局長会議	新日本海新聞社中部本社	1名
22	1月27日	生活困窮者自立支援都道府県研修に係る担当者研修(後期)	オンライン研修	1名
23	2月12日	生活困窮者自立支援事業実施機関連絡会	オンライン会議	2名
24	2月15日	えんくるり事業相談員連絡会	オンライン研修	1名
25	2月18日	子どもの貧困対策研修会	オンライン研修	1名

26	2月19日	第2回市町村共同募金委員会担当者会議	県立倉吉体育文化会館	1名
27	3月13日	コミュニティナース研修	保健福祉センターだいせん	4名
28	3月17日	支え愛マップづくり実践事例報告会	オンライン研修	1名
29	3月18日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修	オンライン研修	2名
30	3月25日	生活困窮者自立支援事業に係る研修企画検討会	オンライン研修	1名

【介護課】

No.	期日	内 容	会 場	参加者
31	11月11日	改正食品衛生法義務化対応研修	鳥取県立武道館	3名

【職場内研修】

No.	期日	内 容	会 場	参加者
32	8月18日	職員交通安全研修	保健福祉センターだいせん	8名
33	11月15日	職員接遇研修	保健福祉センターだいせん	21名
34	10月13日	職員コンプライアンス研修	保健福祉センターだいせん	8名
35	10月29日	職場内人権同和研修会	保健福祉センターだいせん	38名
36	12月3日	職員健康指導会	保健福祉センターだいせん	22名

【その他】

No.	期日	内 容	会 場	参加者
37	8月6日	令和2年度第1回鳥取県人権尊重の社会づくり協議会	鳥取県庁	1名
38	9月9日	危険物取扱者保安講習	米子コンベンションセンター	1名
39	10月26日	令和2年度第2回鳥取県人権尊重の社会づくり協議会	鳥取県庁	1名